

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本4月機械受注)

2018/6/11

りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

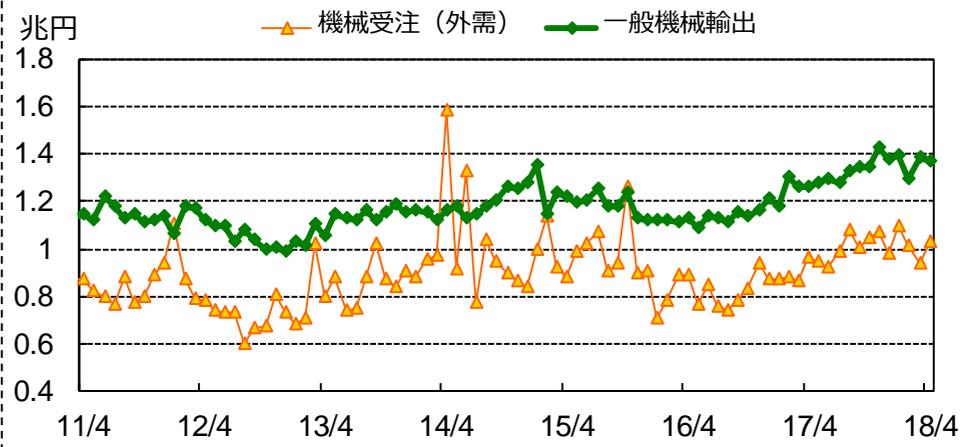
- ◆ 4月機械受注、船舶・電力を除く民需コアの受注は前月比+10.1%
- ◆ 製造業が前月比+22.7%と全体を牽引
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直している」に上方修正

- ✓ 4月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間（民需コア）からの受注額は前月比+10.1%の9,431億円と、市場予想（+2.4%）を上回った(3月▲3.9%の8,566億円)。
- ✓ 内閣府は受注判断を前月まで8か月続けてきた「持ち直しの動きがみられる」から、「持ち直している」へ上方修正。尚、4月時点の民需コア4-6月期の受注見通しでは+9.9%と増加が見込まれている(1-3月期▲5.3%)。
- ✓ 4月の受注総額は前月比+12.6%の2兆5,080億円(3月▲7.9%の2兆2,280億円)。
- ✓ 製造業は+22.7%の4,479億円(3月▲17.5%の3,650億円)と2か月ぶりの増加。業種別では17業種中13業種が増加。造船業、非鉄金属、パルプ・紙・紙加工品などが増加。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は+0.4%の4,778億円(3月+2.2%の4,759億円)と4か月連続の増加。非製造業全体の業種別では12業種中5業種が増加。電力業、情報サービス業、農林漁業などが増加。
- ✓ 官公需は+6.2%の2,582億円(3月▲5.2%の2,432億円)と増加。防衛省、その他官公需が増加。
- ✓ 外需は+10.0%の1兆0,324億円(3月▲7.2%の9,386億円)と増加。産業機械、電子・通信機械が増加。
- ✓ 代理店経由は▲0.2%の1,303億円(3月+9.3%の1,306億円)と減少。電子・通信機器、鉄道車両で減少。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。